

直床工法, 均一な床性能, 静音, 省施工

テクセル床工法

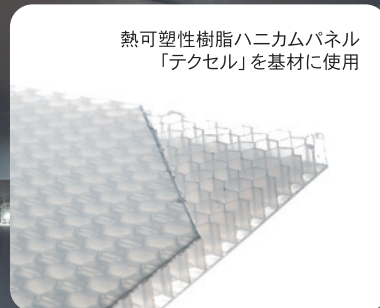
teccell floor method

PAT.P

樹脂製ハニカムフロア

TECCELLは岐阜プラスチック工業株式会社の登録商標です

熱可塑性樹脂ハニカムパネル
「テクセル」を基材に使用



Cover
越谷アルファーズ バスケットボールコート

高性能・高耐久

軽量・高剛性・高耐久の熱可塑性樹脂ハニカムコア
パネル【テクセル】を下地に用いた直床新工法

省施工

部材点数と施工工数を
大幅に削減、省力化、短工期

改修に最適

弾力性を維持したまま
増し張り施工

カスタマイズ

硬さ・衝撃吸収性を
お好みに合わせてカスタマイズ

画期的な直床新工法

樹脂製ハニカムパネル「テクセル」を基材とした新開発構造

1. 超軽量ハニカムパネルによる
圧倒的な省施工

2. 均一な反発力
踏む場所によるバラツキがない

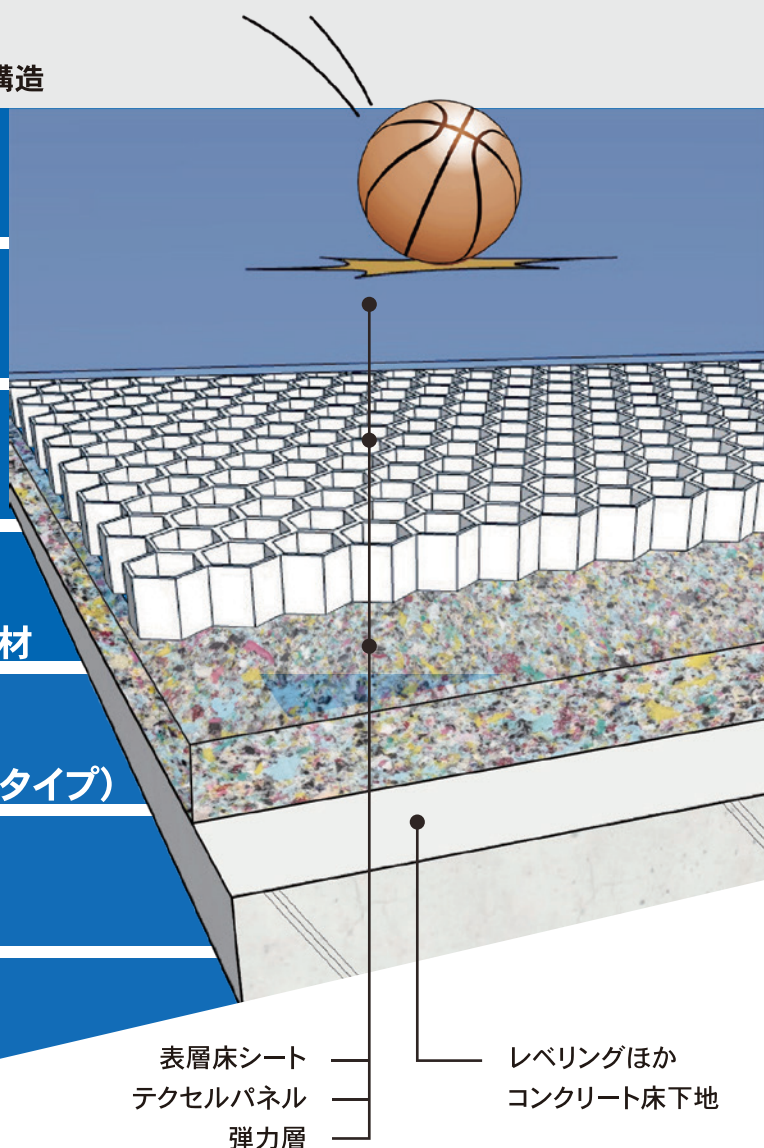
3. 弾力性のカスタマイズ
各種用途に合わせて可能

4. 増し張りでも弾力性を維持
フローリング改修用に最適なリカバリー材

5. 高耐荷重
10 t 車の乗り入れも可能 (フローリングタイプ)

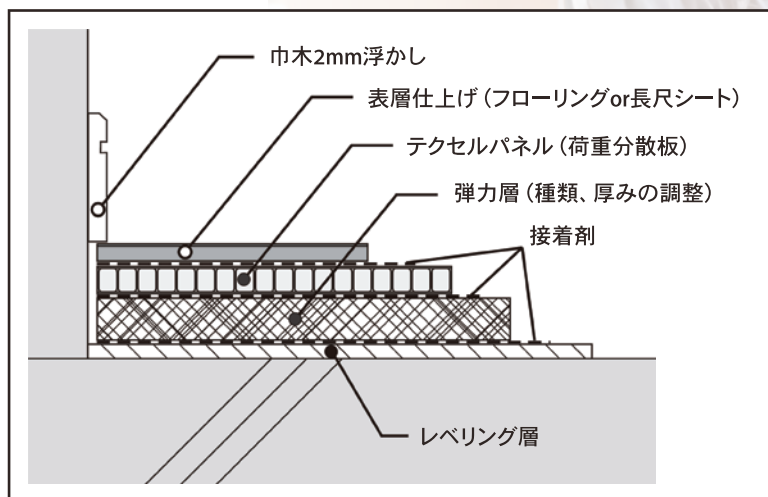
6. リサイクル材を使用
環境にも配慮した製品

7. 優れた断熱性
床の底冷えを緩和できます



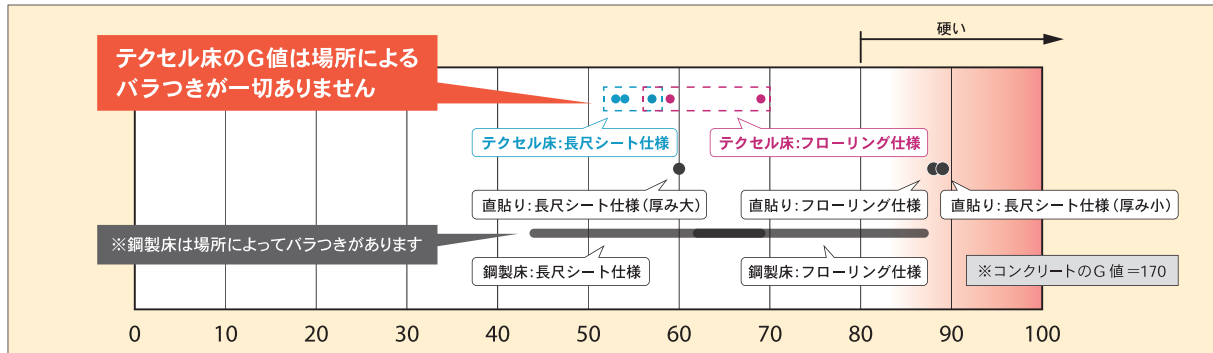
弾力性のカスタマイズ

弾性材の種類、厚みによるカスタマイズが可能です。
各種用途に合わせた最適なカスタマイズ・足への負担軽減



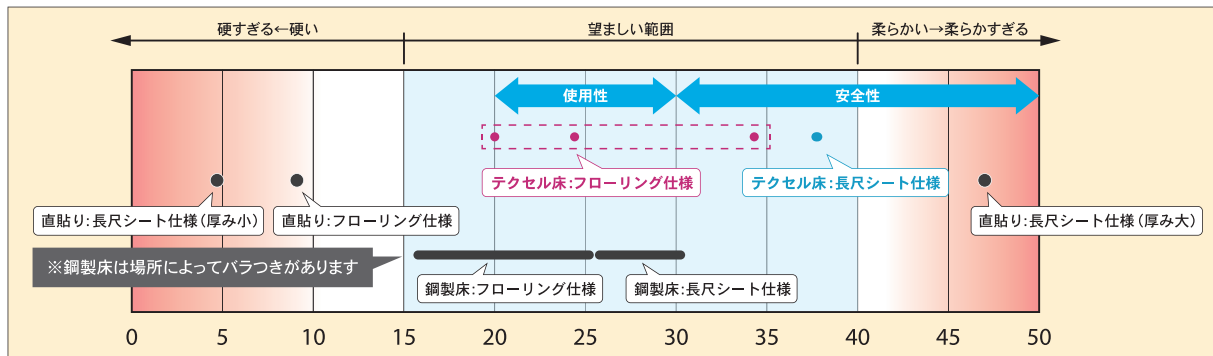
Custom — パターン —

最大加速度 (G) 体育館床: 100G 以下 (JIS A 6519) 推奨範囲: 50~70



→ G 値とは
転倒などにより身体 (特に頭部) を床にぶつけた際の傷害の起こりにくさの指標であり 100G 以下が望ましいとされています。数値が小さいほど安全であることを意味しています。

緩衝作用 (U) 15~40 が望ましい (JIS A 6519) 推奨範囲: 球技 20~30 / ダンス 30~40



→ U 値とは
踏んで着地した際の衝撃吸収性・反発性を表した硬さの性能値です。15~40 が望ましく数値が小さいと硬めの床、大きいと柔らかめの床であることを意味しています。

※数値は当社調べ。参考値であり保証値ではありません。

Rebound — ボール反発 — 緩衝性を保ちながらリバウンド性能は92~98%

ボールの反発は
落とさない

膝の負担を
軽減したい

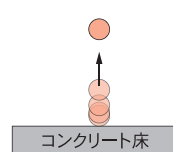
テクセル床は相反する要求を満たすことができます。

構成材のパターンバリエーションによって
踏み心地をキープしながらボール反発性能も
アシストすることができます。

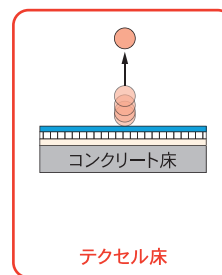
100% 基準

92~98% 均一に設定

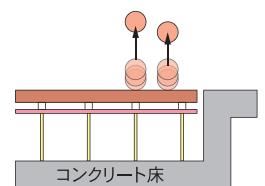
83~99% ばらつく



コンクリート粗面



テクセル床



従来の二重床

従来の鋼製床とは違い場所によるばらつきがありません。

Strength — 製品強度 —

基準値

実測値 (テクセル床)

積載荷重 A
(UR 都市機構) 400kg/㎡で5分後に7.5mm以下
荷重除去5分後の残留たわみ測定 (上限値なし)

荷重5分後のたわみ量 0.78~1.38mm
荷重除去5分後の残留たわみ量 0~0.05mm

積載荷重 B
(JIS A 6519) 1,500kg/㎡で5分後に20.0mm以下
荷重除去15分後の残留たわみ1.5mm以下

荷重5分後のたわみ量 1.94~4.13mm
荷重除去15分後の残留たわみ量 0~0.08mm

繰返し荷重 200kg/足形 80×260mm・0m・4,000回
荷重除去5分後のへたり測定 (上限値なし)

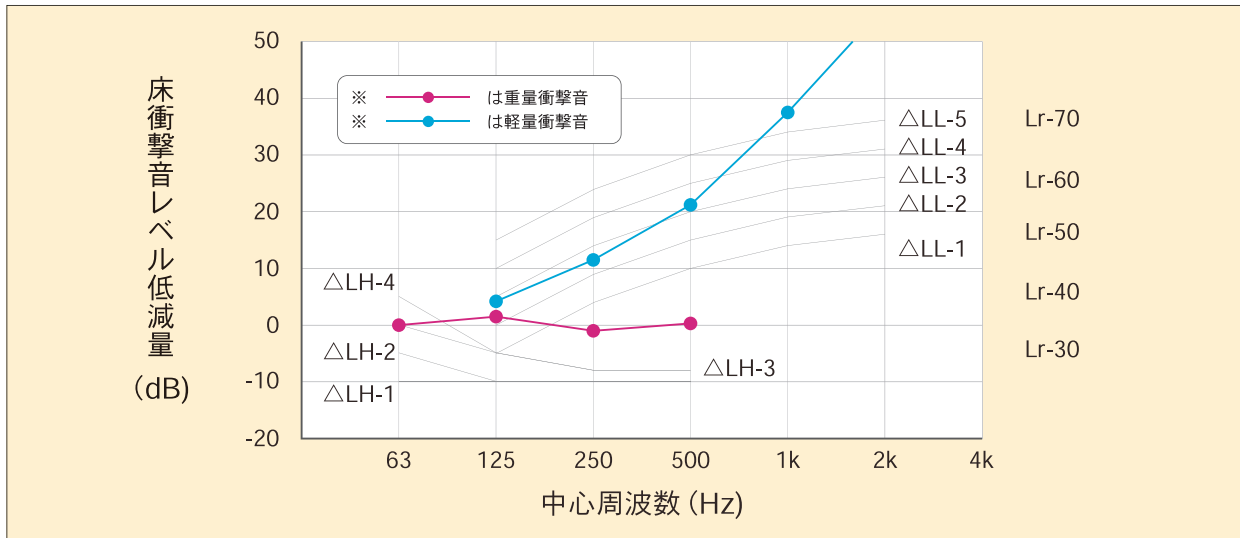
荷重除去5分後の残留たわみ量 0.41~0.65mm

※数値は当社調べ。参考値であり保証値ではありません。

テクセル床の床衝撃音低減性能 (JIS A 1440)

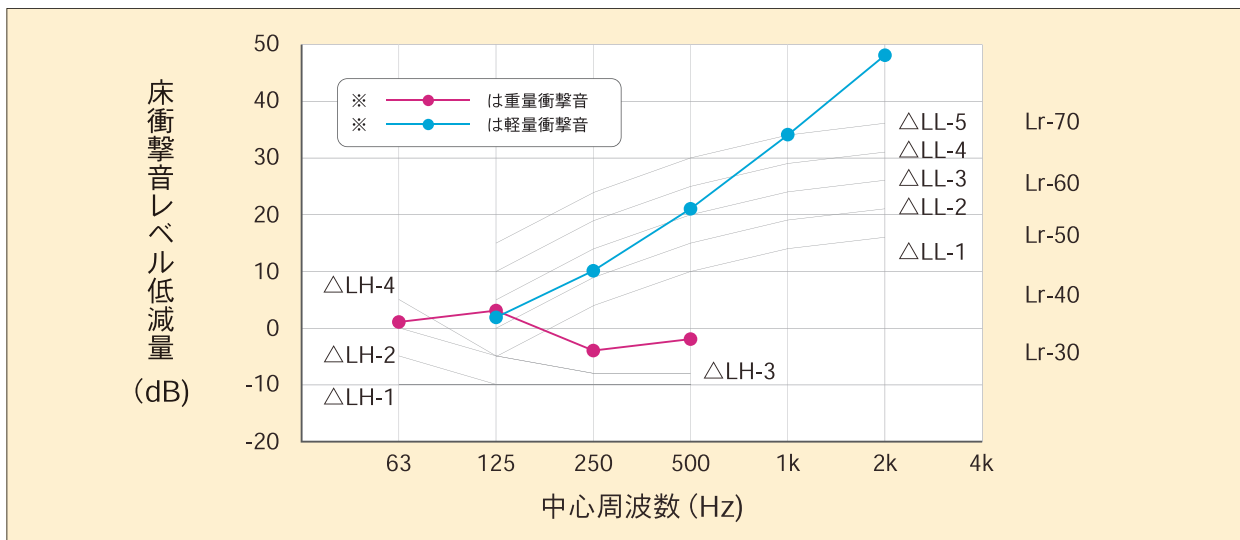
【長尺シート仕様の場合】

重量衝撃音→等級 3 軽量衝撃音→等級 2



【フローリング仕様の場合】

重量衝撃音→等級 3 軽量衝撃音→等級 2



※数値は当社調べ。参考値であり保証値ではありません。

Reverberation

— 室内反響 —

階下への伝搬音

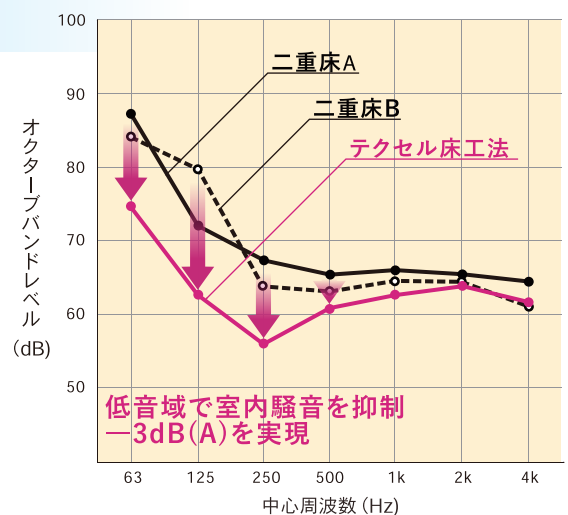
人の運動反響音

床への落下反響音

ストレス低減

聞き取りやすい

などを低減する効果があります。





他工法に比べて構成がシンプルであり、比較的短い工期での施工を可能にします。

step1

平滑な下地面に接着剤を塗布する。

▼

step2

適切なオープンタイムを取り
弾力層を貼り付ける。

▼

step3

所定時間を取り、弾力層に接着剤を
塗布し、テクセルを貼り付ける。

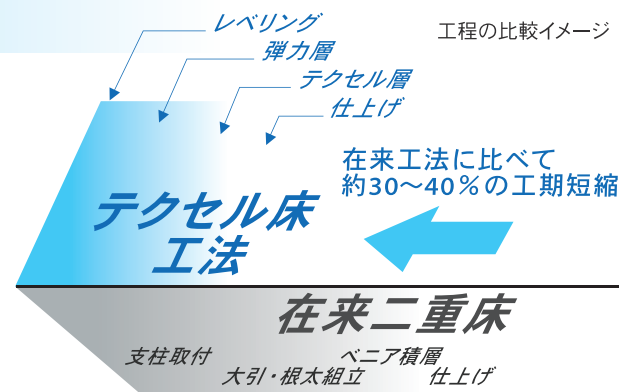
▼

step4

接着剤を安定させる為にローラー転圧を行う。
接着剤硬化後、仕上げ工程を行う。

Comparison —他工法との比較—

	鋼製二重床	置床	テクセル床工法
施工性	○	○	◎
コスト	△	○	◎
工期	△	○	○



※300㎡の運動施設を想定した際の比較

体育館床の改修・メンテの新工法 樹脂製ハニカム 増し張りフロア

テクセル床 増し張り工法 7つの特長

軽量ハニカム下地による省施工な直貼り工法。

弾力層を変える事で、用途に合わせたカスタマイズが可能。

層厚が薄く、容易に段差の解消が可能。

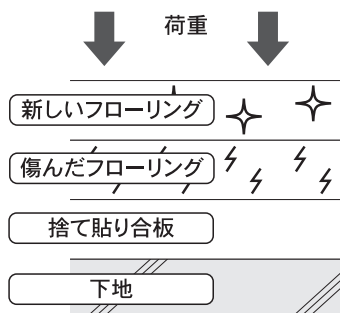
点検口や換気口はそのまま活用が可能。

ささくれ改修工事でフローリングの選択が可能。

ハニカムパネルと弾力層により新築時の運動性能、安全性の再現が可能。

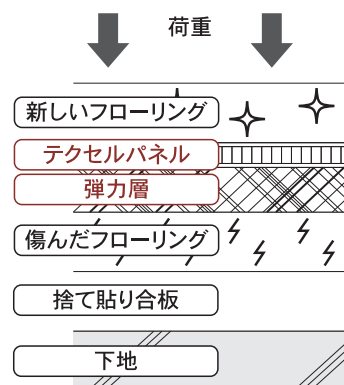
熱伝導率が低く断熱性に優れるため、床の底冷えを緩和できます。

従来の工法



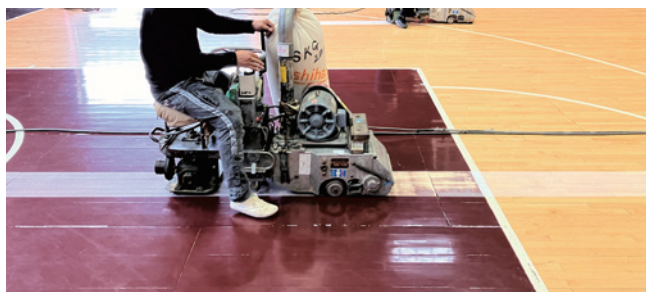
フローリング同士が積層されるため弾力性が低下し硬くなります。

テクセル床工法



テクセルパネルと弾力層が間にある事で弾力性が維持されます。

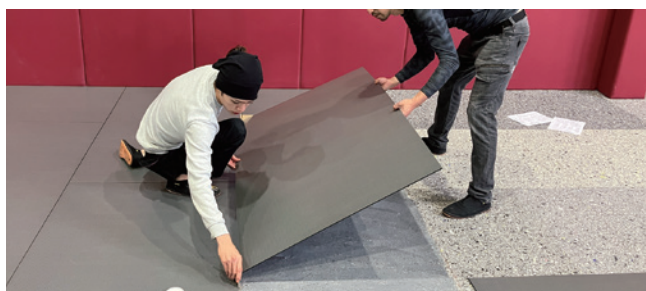
Process - 工程イメージ -



① 傷んだフローリングを研磨する。



② 接着剤を塗布し適切な所定時間を取り、弾力層を貼り付ける。



③ 所定時間を取り弾力層に接着剤を塗布しテクセルを貼り付ける。



④ 接着剤を安定させる為ローラー転圧を行う。接着剤硬化後、仕上げ工程を行う。

増し張り工法



※ 写真：越谷アルファーズ様（バスケットコートの床に使用）

新築直貼り工法



- お客様：株式会社 東京ドームスポーツ 様
- 用途：ダンススタジオの床として
- 導入効果：① 使用時の安全性が向上
② 階下への振動伝達の軽減

— お客様の声 —

運動性と安全性を兼ね備えた床のため、
激しいプログラムから子供向けのプログラム
まで安心して実施できます。

新築直貼り工法



- お客様：一般社団法人 神戸華僑総会 様
- 用途：多目的施設の床として
- 導入効果：① 衝撃吸収性による安全性向上
② 軽量材料による省施工化

— お客様の声 —

新工法という話をお聞きし驚きました。
フローリング材ですと硬い印象でしたが、
踏み心地がよくこれからは楽しみです。

倉庫を改修（直貼り工法）



- お客様：スポーツクラブ神戸ディプロ 様
- 用途：3人制バスケットコートの床として
- 導入効果：① 在来工法に比べて工期が大幅短縮
② ボールの反発を維持しつつ膝への負担を軽減

— お客様の声 —

膝への負担が減ったため
今までよりも疲れにくくなった気がします。
ボールの反発も問題ありません。



樹脂製ハニカムフロア

teccell-floor.jp



テクセル床工法ホームページ

お問い合わせ先

テクセル床工法協会

■事務局

〒662-8502 兵庫県西宮市池田町12-20

株式会社新井組内

TEL (0798) 26-8170

e-mail : contact@tec-floor.com